

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

2012年6月
NO. 231

TOPICS

「危機のパラドックス

～カントリー・ブランド調査で日本の観光が1位に躍進」

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 監事 西谷 武夫
MESSAGE P3

「広報PRアカデミー2012

第1回広報・PRプロジェクト最新事例セミナーを開催」

ATTENTION P4

「広報PRアカデミー2012

6月6日よりPRプランナー3次試験対応講座を開講」

ATTENTION P5

「広報PRアカデミー2012

ソーシャルメディア基礎講座 締め切り迫る」

ATTENTION P6

「第11回PRプランナー資格認定検定試験

7月13日まで1次試験受験予約受付中！」

ATTENTION P7

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号 六本木ヒルズノースタワー
5F 電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <http://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F
電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人: 森 健

6月号 目次

6月・7月のスケジュール	1
MESSAGE(メッセージ)	「危機のパラドックス ～カントリー・ブランド調査で日本の観光が1位に躍進」 3
ATTENTION(お知らせ)	「広報PRアカデミー2012 広報・PRプロジェクト最新事例セミナーを開催」 4
”	「広報PRアカデミー2012 6月6日よりPRプランナー3次試験対応講座を開講」 5
”	「広報PRアカデミー2012 ソーシャルメディア基礎講座 締め切り迫る」 6
”	「第11回PRプランナー資格認定検定試験 7月13日まで1次試験受験予約受付中！」 7
BULLETIN(活動報告)	「第1回通常総会・懇親パーティ 開催」 8
”	「広報PRアカデミー2012 ソーシャルメディア実践講座」 9
”	「第10回PRプランナー資格認定検定試験 2次試験を5月13日に実施」 11
”	「PRYearbook 2011-12 発刊」 12
”	「第21回PRスキル研究会 開催報告」 13
REPORT(講演レポート)	「第139回定例研究会開催報告」 14
PR TREND(PRトレンド(国内))	「ELTトレンド指数で見るキーワード・ランキング2012年4月度」 15
BOOKS	「誤解だらけの放射能ニュース」 16

表4

6月～7月スケジュール

広報PRアカデミー2012 PRプランナー試験対応コース 「3次試験対応講座」	日 時 : 6月6日(水)・13日(水)・20日(水)・27日(水) 7月4日(水)・11日(水) 全6回 いずれも19:00～21:30 会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49
企業部会フォーラム メディア研究会 (企業部会)	日 時 : 6月11日(月) 18:30～ 会 場 : 六本木ヒルズクラブ 講 師 : 日本航空(株)(JAL) 広報部長 溝之上 正充氏 同 顧客戦略部推進グループ グループ長 浅香 浩司氏 テーマ : 「ダイレクトメディア Facebook に取り組む JAL に学ぶ」
広報PRアカデミー2012 専門・応用コース 「広報・PRプロジェクト最新事例 セミナー」	日 時 : 6月14日(木) 19:00～21:30 会 場 : (株)博報堂 本社 会議室
広報PRアカデミー2012 基礎コース 「ソーシャルメディア基礎講座」	日 時 : 6月21日(木) 18:00～21:00 会 場 : 協会 会議室 講 師 : (株)arex シニア・アカウント・エグゼクティブ 石山 香織氏 (株)arex シニア・アカウント・エグゼクティブ 山本みやこ氏
第6回PRプランナー交流会	日 時 : 6月22日(金) 19:00～21:30 会 場 : (株)アサツー ディ・ケイ 11Fラウンジ
第141回定例研究会	日 時 : 6月27日(火) 12:00～14:00 会 場 : 日本外国特派員協会(FCCJ) 講 師 : 日本経済新聞大阪本社 編集局経済部 編集委員 竹田 忍氏 テーマ : 「記者から見た“使える広報”“使えない広報” — 広報担当者が備えるべき要件とは? —」
会員納涼懇親会	日 時 : 7月20日(金) 18:30～21:00 会 場 : 原宿「ベニーレベニーレ」
広報PRアカデミー2012 PRプランナー試験対応コース 「1次試験対応講座」	日 時 : 7月24日(火)・31日(火)・8月7日(火)・21日(火) 全4回 いずれも19:00～21:30 会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49

6月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会（6月度）	日 時	： 6月 14日（木） 12：00～14：00
	場 所	： 六本木ヒルズクラブ
幹部会（経営会議）（6月度）	日 時	： 6月 14日（木） 10：30～11：45
	場 所	： 協会会議室
教育委員会（6月度）	日 時	： 6月 8日（金） 10：30～12：30
	場 所	： 協会会議室
資格委員会（6月度）	日 時	： 6月 28日（木） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室
交流委員会（6月度）	日 時	： 未定
	場 所	： 協会会議室
広報委員会（6月度）	日 時	： 未定
	場 所	： 協会会議室
企業部会幹事会（6月度）	日 時	： 6月 8日（金） 16：00～17：30
	場 所	： 協会会議室
PR業部会幹事会（6月度）	日 時	： 6月 14日（水） 16：00～18：00
	場 所	： 協会会議室
IT委員会（6月度）	日 時	： 6月 15日（金） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室

危機のパラドックス ～カントリー・ブランド調査で日本の観光が1位に躍進

(公社)日本パブリックリレーションズ協会
監事 西谷 武夫

フューチャー・ブランド社(本社:ニューヨーク)が昨年11月に発表した調査によると、日本の「カントリー・ブランド・インデックス」(CBI)は、総合で前年より2ランクあげて、世界第4位に躍進した。また、観光分野では、前年4位から、世界第1位になるという快挙になった。

このカントリー・ブランド調査は、毎年行われており、今回で7回目。2011/2012版の総合ランキングは、①カナダ、②スイス、③ニュージーランド、④日本、⑤オーストラリア、⑥アメリカ、⑦スウェーデン、⑧フィンランド、⑨フランス、⑩イタリアの順である。総合評価のほか、「価値システム」(政治や許容性、環境等)、「生活の質」、「ビジネス環境」、「遺産・文化」、「観光」の5分野の魅力度ランキングがある。日本は、「ビジネス環境」では例年4位と評価が高いが、「観光」では前年までは7位にすぎなかった。

なぜ日本が、観光で第1位になったのか? 観測史上最大の烈震と大津波、そのためシビア・アクシデントを起こしてしまった福島第一原子力発電所の一大危機にも関わらず、である。海外では、放射能汚染で日本からの食物輸入を制限している中で、なぜわざわざ日本へ観光に来たいと思うのか。まさか、怖いもの見たさではあるまいし、不可解である。

これは「危機のパラドックス」だという。悪いニュースでも大量に繰り返し流され、露出されることでその国への関心が高まり、カントリー・イメージに多大な影響を及ぼす。そのニュースが意図的な悪事ではなく、不可抗力の自然災禍であれば、同情心もでてくる。あの空前の大災害にあっても秩序を保ち、冷静沈着に対応した日本人の姿。そしてまた、日本の社会の強い絆がTV、新聞、ネットを通じて世界中に報道され、賞賛された。海外では、これは信じがたいことだという。忘れられていた日本人と日本の規律や底力が、改めて再認識されたのである。

それは大変ありがたいことだ。しかし、これからが問題である。高い評価とその賞賛すべき日本に行ってみたい、という期待にどう応えられるか。放射能汚染の懸念で、日本への観光客数はどうなるか心配である。今年11月の日本のカントリー・ブランド・インデックスがどうなるか、大変気がかりだ。

強いブランドは危機を乗り越えられるという。しかし、強いブランドも、人々の思いと期待に応えられなければあえなく壊れてしまう。ブランドは、花の如く美しい。中国語で、「名牌如花」。しかし、美しいものはまた壊れやすいものである。せっかくの日本ブランドをどう守れるか。世界の期待に応えていかなければならない。

「危機はまたチャンスである」、ともいう。しかし、それを契機として活かすためには、危機を乗り越えるだけの努力と発信をして、自ら評判を取戻さなければならない。戦略的、積極的にコミュニケーション活動に取り組んでこそ、ブランドの信頼を取戻し、より一層高めることができるのである。

あらゆる危機が潜み、ますます激化するグローバル市場では、コミュニケーション戦略は、国や企業が成功する要諦である。ひたすら良い物を作っていれば売れる時代ではない。PRが足りないのではないのか。日本のコミュニケーション活動は、まだまだ受け身ではないだろうか。日本の政府、企業の一層能動的なコミュニケーション活動が今こそ必要なのではないだろうか。

広報PRアカデミー2012

第1回「広報・PRプロジェクト最新事例セミナー」を開催

6月14日第2回セミナーの聴講受付中

教育委員会・顕彰委員会

去る5月16日、第1回「広報・PRプロジェクト最新事例セミナー～PRアワードグランプリ表彰企業の取り組みに学ぶ」を、博報堂東京本社・大会議室にて開催いたしました。

当日は、「PRアワードグランプリ2011」における「マーケティング・コミュニケーション」、「ソーシャル・コミュニケーション」、「イノベーション」の3部門で最優秀賞を受賞した3つのプロジェクト事例に関する講演、また各賞に関する講評とPRのトレンドに関する講演が江戸川大学・教授の濱田 逸郎氏により行われました。会場には130名余の聴講者が参加し、ユニークなプロジェクトの説明に熱心に聴き入る姿が目立ちました。



なお協会では、6月14日午後7時より第2回「広報・PRプロジェクト最新事例セミナー」の開催を予定しています。今回は、「コーポレート・コミュニケーション部門 最優秀賞」を受賞した宇都宮市による都市ブランド構築に向けたプロジェクト、さらに堂々、PRアワードグランプリの栄冠に輝いたさいたま市による議会広報誌の刷新に向けた取り組みをご紹介します。

当協会会員及びPRプランナー資格取得者の聴講料は2,100円、一般は3,150円です（いずれも消費税込）。聴講は6月11日まで受付けています。その他講座の詳細と受講申込みは以下の協会Webサイト「セミナー/イベントを探す」（下記URL）ページをご参照ください。皆様のおふりつのご参加をお待ちしております。（http://event.prsj.or.jp/event/advanced/case_study）

■第2回「広報・PRプロジェクト最新事例セミナー」プログラム

日時	会場	時間	内容	講演会社・団体
6月14日 (木) 19:00 ～ 21:30	(株)博報堂 東京本社 会議室	19:00	ご挨拶	日本PR協会 顕彰委員会
		19:10	●コーポレート・コミュニケーション部門最優秀賞 『宇都宮市都市ブランド戦略プロジェクト 宇都宮 プライド ～100年先も誇れるまちを、みんなで～』	(株)オズマピーアール 宇都宮市関係者
		19:40	●PRアワード2011 グランプリ受賞 『議会広報誌のイノベーション ～さいたま市議会 「ロクマル」の挑戦～』	(株)電通パブリックリレーションズ さいたま市関係者
		20:10	休憩	
		20:20	質疑応答	講演者全員
		20:40	講評と講演/最近の広報・PRトレンドと「PRアワード グランプリ2011」における表彰事例の意義(仮題)	ブレーメンコンサルティング(株) 代表取締役 岡本享二氏

広報PRアカデミー2012

6月6日よりPRプランナー3次試験対応講座を開講

--協会Webで受講申込みを受付中--

教育委員会

先にもご案内しておりますが、協会ではPRプランナー3次試験受験者を対象とした「PRプランナー3次試験対応講座」を、6月6日（水）より六本木・アカデミーヒルズにて開講します。現在、受講のお申込みを協会Webで受付中です。会場受講は6月1日まで申込みを受付けており、またインターネットを通じて講義の再履修及び遠隔地からの受講を可能とした「Web受講サービス」については、講座開始後もお申込みいただけます。

本講座は、PRプランナー3次試験の合格に求められる広報・PRの知識とスキルのポイントを6回にわたる講義と実習を通じて短期間で習得できます。本講座の受講修了者は高い合格率を誇り、来る7月21日に予定されている第10回3次試験に向けた準備として最適です。PRプランナーをめざす皆様の受講をお待ちします。

なお、講座の詳細と受講申込みは以下の協会Webサイト「セミナー/イベントを探す」（下記URL）をご参照ください。

http://event.prsj.or.jp/event/prp/3rd_exam

■PRプランナー認定3次試験対応コースの概要

日程	講座テーマ	講座概要	講師	受講料	申込締切
6月6日 ・13日	「合格するニュースリリースの作成法」	課題に基づくニュースリリースの作成に必要な知識、スキルを講義と演習で学ぶ	田代 順氏 (株)ミラ・ソル/代表取締役	会場受講 + Watershed 視聴 日本PR協会会員 社員 31,500円 PRプランナー(准・ 補)取得者 42,000円 一般 47,250円 Watershed 視聴のみ 会員・PRプラン ナー・一般とも 31,500円	会場受講 + Watershed 視聴 6月1日まで Watershed 視聴 講座開始後 でも受けま す
6月20日 ・27日	「広報・PR企画の立案作成(マーケティング課題)」	マーケティング課題に基づく広報・PR計画の企画立案に必要な知識、スキルを講義と演習を通じて学ぶ	赤坂幸正氏 (株)インテグレート/ チーフプランナー		
7月4日 ・11日	「広報・PR企画の立案作成(コーポレート課題)」	コーポレート課題に基づく広報・PR計画の企画立案に必要な知識、スキルを講義と演習を通じて学ぶ	岡本純子氏 (株)電通パブリック リレーションズ/シ ニアコンサルタント		

日本PR協会会員社員の受講料は、法人正会員社員、もしくは個人正会員ご本人様のみとなります。

予告 「PRプランナー1次試験対応講座」を7月に開講

協会では、「PRプランナー1次試験対応講座」の7月下旬開講に向けて、現在、準備を進めています。今回はより実践的な試験対策となるよう、過去に1次試験で実際に出題された問題を使用した模擬試験形式を採用し、4回にわたっての講座の実施を検討しています。

受講申込みの受け付け開始は2012年6月中旬を予定しております。詳細のご案内と申込みの受付は協会Webを通じて行います。1次試験の突破をめざす、多くの皆様の受講をお待ちいたします。



第10回1次試験風景

広報PRアカデミー2012

基礎コース「ソーシャルメディア基礎講座 ～ 今さら聞けないSNS ～」締め切り迫る

教育委員会

当協会では、来る6月21日(木)当協会会議室にて、「広報PRアカデミー2012 基礎コース『ソーシャルメディア基礎講座 今さら聞けないSNS』」を開講いたします。

本講座は、昨今休息に普及したTwitterやFacebook等のソーシャルメディアに関する基本的な知識と利用法を、講義と実習を通じて習得する講座です。

これらTwitterやFacebook等のソーシャルメディアの普及に刺激を受け、これから利用に取り組もうという意欲のある人々で、社会中堅層以上/SNS未経験者を対象に、SNSの基礎知識から実際のアカウント作成までを、ベテラン講師2名により1人1台のノート型パソコンを使用しながら協会会議室というクローズドな空間でこっそりと習得します。

定員10名と小人数ですので、参加ご希望の方はお早目にお申込みください。皆様の受講をお待ちしております。

日 時	2012年6月21日(木) 18:00～21:00
会 場	日本PR協会 会議室 〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号 六本木ヒルズノースタワー5F http://www.prsj.or.jp/about/access
受講料(税込)	○レンタルノートPC付 一 般 : 31,500円 PRプランナー資格取得者(准・補含む) : 27,300円 日本PR協会会員 : 21,000円 ○ノート型PCをご持参 一 般 : 26,250円 PRプランナー資格取得者(准・補含む) : 22,050円 日本PR協会会員 : 15,750円 ※本講座では一人1台のノートPCを使用いたします。
お支払方法	銀行振込 ※手数料はご負担ください。
申込期間	6月15日(金)まで
定 員	10名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。(開講最低人数:6名)
講座内容	第1部SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の基礎知識 ・はじまり/種類と特徴/ビジネスモデル 第2部Twitterの基礎的な使い方(アカウント作成) ・ユーザー登録から使い方、他のユーザーとのコミュニケーション(情報収集) 第3部Facebookの基礎的な使い方(アカウント作成) ・ユーザー登録から使い方、他のユーザーとのコミュニケーション ・写真のアップ、ファンサイト(いいね!)について 第4部まとめ ・利用時の注意(やってはいけないこと)/SNSのこれから/質疑応答 ※各部の間に休憩を予定しております。
講 師	石山 香織氏(株式会社エイレックス シニア・アカウント・エグゼクティブ) 山本 みやこ氏(株式会社エイレックス シニア・アカウント・エグゼクティブ)
その他	Facebook アカウント作成の際、アカウント登録用に写真を撮影させていただきます。(ご希望者のみ)お写真は、USB等で持参いただくことも可能です。

詳細・お申込みは、

セミナー/イベントホームページ → [基礎コース](#) → ソーシャルメディア基礎講座

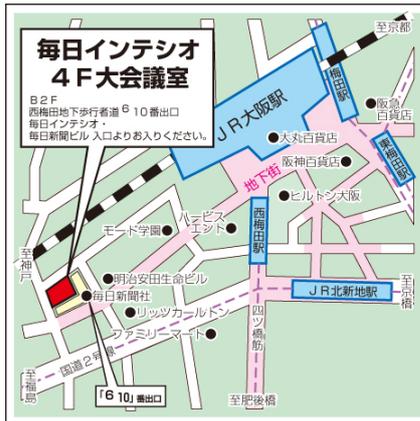
http://event.prsj.or.jp/event/elementary/social_media

第 11 回「PRプランナー資格認定検定試験」 7 月 13 日（金）まで 1 次試験受験予約受付中！

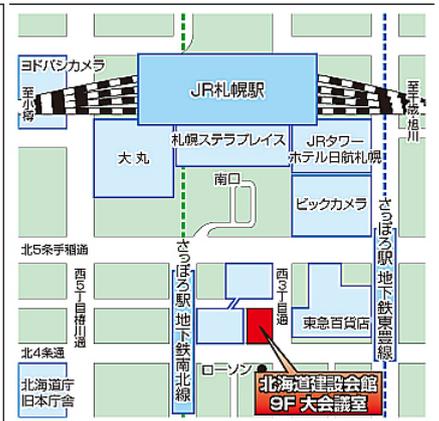
資格委員会



東京会場



大阪会場



札幌会場

第 11 回 PR プランナー資格認定検定試験 1 次試験（実施：8 月 26 日（日））では、東京・大阪以外での各地域での開催希望の声に応え、第 8 回に引き続き北海道にて、「PRプランナー資格認定制度／検定第 1 次試験」を実施します。

日本 PR 協会が認定する「PRプランナー資格認定制度」は、広報・PR の業務に求められる専門的な知識やスキル、職能意識等を検定し資格として認定する、公益法人としてわが国唯一の資格制度です。検定試験は第 1 次から第 3 次にわたり、さらに書類審査により、広報・PR に関する高い専門能力の保有を認定する「PRプランナー」資格を取得することができます。本制度は 2007 年より発足しすでに 10 回の試験を実施、難関を突破し資格を取得した 1,205 名の PR プランナーが一般企業、PR 会社、政府機関や自治体等で活躍しています。

受験予約申込は、7 月 13 日（金）までとなっておりますが、定員に達し次第締め切らせていただきますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

PRプランナー資格認定制度／検定第 1 次試験 札幌会場 実施概要

試験日	2012 年 8 月 26 日（日） [東京会場、大阪会場と同日実施]
会場	北海道建設会館（札幌市中央区北 4 条西 3-1、JR 札幌駅南口から徒歩 3 分）
募集定員	札幌会場の最少実施人数は 20 名となります。 ※札幌会場での受験者が、20 名に満たない場合は、受験料のご返金、もしくは東京・大阪いずれかの会場に変更となりますので、予めご了承ください。
受験応募・申込方法	資格制度ホームページで受験予約を行った上で申込書を郵送
受験予約期間	2012 年 6 月 1 日（金）～ 2012 年 7 月 13 日（金）
申込書送付期間	2012 年 6 月 4 日（月）～ 2012 年 7 月 20 日（金）＜必着＞

第 1 回「通常総会」・「懇親パーティ」開催

公益社団法人としての第 1 回通常総会が、5 月 30 日(水)午後 5 時から、東京都港区六本木の六本木ヒルズ森タワー49 階 アカデミーヒルズ 49「スカイスタジオ」において開催されました。

出席者 38 名、議決権行使書提出者 254 名で、合計 292 名。定足数の 210 名を超え、総会は成立しました。

総会では、次の 3 つの議案の審議と 2 つの報告が行われ、議案事項は全て承認されました。



【議案審議】

- 第 1 号議案 平成 23 年度事業報告
- 第 2 号議案 平成 23 年度収支決算報告
並びに監査報告
- 第 3 号議案 新役員選任

【報告事項】

- 第 1 号報告 平成 24 年度事業計画
- 第 2 号報告 平成 24 年度収支予算

午後 7 時から、同階「タワーホール」において懇親パーティが行われ、こちらも 124 名（招待者含む）の参加者を迎え、大変な盛況でした。



パーティ席上では、新理事長挨拶、新任理事の紹介、退任理事への記念品贈呈などのセレモニーが行われ、盛況の内に閉会しました。

広報PRアカデミー2012
**広報担当者のためのソーシャルメディア実践講座
 (第5回)を5月22日に実施**
当日参加者は130名+WEB視聴者

教育委員会・IT委員会・組織委員会

5月22日、5回目となる同時生中継セミナー「広報PRアカデミー2012 広報担当者のためのソーシャルメディア実践講座(第5回)」は、アカデミーヒルズ49Fで19時より開催され、当日の会場には、80名の受講者が参加されました。ソーシャルメディアの円滑な運用に欠かせない社内教育やリスク管理、広聴体制の整備について、具体的な取り組み事例を紹介しながら実施いたしました。



毎日新聞社 小川 一氏

今回の講師には、パネリストとして、小川 一氏(毎日新聞社 コンテンツ事業本部次長兼「教育と新聞」推進本部長)、関口 良幸氏(デル株式会社 広報本部 シニアマネージャー)、豊岡 隆行氏(株式会社ベネッセコーポレーション 教育事業本部 副本部長)、



株式会社 ベネッセコーポレーション
豊岡 隆行氏



デル株式会社 関口 良幸氏

コーディネーターとして鶴野 充茂氏(ビーンスター(株) 代表取締役、(公社)日本パブリックリレーションズ協会 理事)を迎え、前半の第1部では、「ソーシャルメディア運用と社内教育」と題し、各パネリストのご紹介からはじまり、各社のソーシャルメディア運用の社内体制、ソーシャルメディア運用の



ビーンスター 株式会社
鶴野充茂氏

状況(ソーシャルメディア・ガイドラインの策定、社員教育・トレーニングなどの実施状況)をお話いただきました。後半の第2部では、「ソーシャルメディア運用の実際とリスク管理」と題し、自社の取り組みについての課題と今後の計画について、リスク管理の対策、ソーシャル・リスニング機能の整備を含め、お話いただきました。

また、今回の講座でも、講座中の質問・感想を「セミナー／イベント」サイトにある日本PR協会のオリジナル Twitter で受付し、左側スクリーンでツイートをリアルタイムに表示し、パネリストの事例紹介を右画面のスクリーンで表示。その様子は Ustream を介し、同サイトのトップ画面でWEB生中継いたしました。

その結果、来場者最大で 30 名の方がWEB視聴をされ、Twitter にも書き込みがございました。

なお、この「広報担当者のためのソーシャルメディア実践講座」は、第 1 回 (2011 年 2 月 14 日)、第 2 回 (3 月 3 日)、第 3 回 (6 月 3 日)、第 4 回 (9 月 6 日) と、今回の第 5 回を含め、過去のアーカイブとしてご参照いただくことができます。



公益社団法人
日本パブリックリレーションズ協会のセミナー／イベント




ホーム

日本PR協会について

セミナー／イベントを探す

動画配信アーカイブを見る

お問い合わせ



kumakita122 「いつやめますか」「やめ方をかんがえてやってください」という項目を申込書につけておくことは、なるほど・・・だと思いました。 #prsj
<http://event.prsj.or.jp/>
2012/05/22 20:57:39

Hiroki Tsukui リスクや役割と全然話それますが... 質問です。ずばり、LinkedInを大胆に広報活動に活用している事例ありますか？ 広報活動の対象はマス？ Consumer等様々なステークホルダーですが、求職者はどう？ NSIに反応？ #prsj <http://event.prsj.or.jp/>
2012/05/22 20:50:55

kumakita122 ソーシャルメディアは個人が鍛えられるものなので、それぞれに個人が鍛えられることを覚悟して使っていくべきだ。 #prsj
<http://event.prsj.or.jp/>
2012/05/22 20:48:40

noah_ch アカウント 設置・運用・支援・リスク管理に

ニュース/トピックス 一覧を見る

2012.05.30 ソーシャルメディア基礎講座「今さら聞けないSNS」(6月21日)の募集を開始しました
Twitter や Facebook 等のソーシャルメディアに関する基本的な知識と利用法を、講義と実習を通じて習得する講座です。Twitter や Facebook 等のソーシャルメディアの普及に刺激を受け、これから利用に取り組みたいという意欲のある方々(主に社会中間層以上のSNS未経験者)が対象となります。(講座の詳細・お申込みは [こちら](#))

検索

検索

※第 1 回～第 5 回のこれまでのご視聴は、当協会「セミナー／イベント」の中の「動画配信アーカイブ」よりご視聴ください。(<http://event.prsj.or.jp/archive>)

- 10 -

第10回「PRプランナー資格認定検定試験」

2次試験を5月13日に実施

291名の受験者が挑戦！

資格委員会

5月13日（日）、第10回PRプランナー資格検定2次試験が東京・学習院大学、大阪・毎日インテシオで行われました。今回の2次試験では、289名（東京会場：240名、大阪会場：49名）の方が受験申込をされ、当日は266名（東京会場：250名、大阪会場：41名）の受験者が受験し、そのうち137名が合格されました（4科目一括合格者のみ）。

今回も当日は、東京・大阪会場ともに、好天に恵まれ、無事終了することができました。ご協力いただきました関係者の皆様には、厚くお礼申し上げます。

なお、今回の2次試験の受験者および合格者・合格率は以下の通りです。

< 第10回 科目別2次試験合格率 >

科目A：CSR、IR、危機管理等、企業経営とコミュニケーションに関する知識
受験者229名（東京188名・大阪41名）、合格者170名、合格率74.2%

科目C：広報・PR実務に関する知識
受験者218名（東京180名・大阪38名）、合格者199名、合格率91.3%

科目D：時事知識
受験者232名（東京193名・大阪39名）、合格者167名、合格率72.0%

科目B：マーケティング、ブランドマネジメントに関する知識
受験者224名（東京184名・大阪40名）、合格者188名、合格率83.9%

< 第10回 2次試験合格者 >

4科目合格者 168名（科目A、C、D、B合格者）

※上記4科目合格者数は、過去に合格された科目を加算した上で、今回新たに合格された方の人数となり、今回の試験結果のみでの合格者数ではございませんので、ご了承ください。



< 受験会場 >



< 学習院大学 南5号館 >

「PR Yearbook 2011-12」発刊 ～PR この1年～

広報委員会

今年も1年間の国内外のパブリックリレーションズの動きを網羅した「PR Yearbook 2011-12」を発刊いたしました。本誌は、2011年の広報・PRに関する動向や注目のトピックスを取り上げ、独自の視点で1年を振り返る年鑑で、今号で4号目になります。

特に今号の特長としては、

- ・東日本大震災の発生と福島第一原子力発電所の事故にまつわる政府、東電の広報活動等を踏まえて、これからの広報のあり方、広報パーソンとしての持つべき視点を考えました。
- ・震災、原発事故の動きを時系列で捉え、広報視点でのコメントも読んでいただけます。
- ・会員外にも門戸を開放した「PRアワードグランプリ」の優秀作品を紹介、広報の実務家にとって参考になる広報事例を豊富に掲載いたしました。また、事例の中にも震災関連のものが含まれています。

広報実務に携わる方に、必ずお役に立てる1冊として自信を持ってお送り申し上げます。

- 名称 : 「PR Yearbook 2011-12」
- 発行元 : 公益社団法人
日本パブリックリレーションズ協会
- 発行部数 : 1,100部
- 発行日 : 平成24年6月1日(金)
- 体裁 : A4判/92頁/平綴じ/
表紙関係4色、本文2色
- 定価 : 1,000円(+税50円)
- 会員価格 : 800円(税込み)+送料

☆会員の皆様には会員価格にて販売いたしますので、
購入ご希望の方は、日本PR協会までご連絡ください。

また、今回は会員のご紹介があれば会員以外の皆様にも会員価格にて販売いたしますので、お声掛けください)

- 購入方法 : アマゾン等のネット書店および協会事務局で販売また、全国の書店注文にも対応いたします。
- 発売 : ㈱アーク出版



会 員 限 定

第 21 回PRスキル研究会
「マーケティング視点で見た
3 大ソーシャルメディアの活用法」
講師:株オプト 代表取締役CEO 鉢嶺 登氏
同 ソーシャルメディア・シニアコンサルタント 田村 憲孝氏
— P R 業 部 会 —

第 21 回 P R スキル研究会は 5 月 24 日（木）会場を株オプトの市ヶ谷オフィスに移して 17：00～開催しました。株オプト 代表取締役 鉢嶺 登氏と株オプト ソーシャルメディア・シニアコンサルタント 田村 憲孝氏で、テーマは「マーケティング視点で見た 3 大ソーシャルメディアの活用法」。参加者は 50 名。

鉢嶺 登氏は、第一部の中で、現在の 3 大ソーシャルメディアである「facebook」「Twitter」「ブログ」を取り上げ、それぞれのユーザー特性や、ビジネスに活用する際注目すべき点を紹介されました。第二部では、株オプト ソーシャルメディア・シニアコンサルタント 田村 憲孝氏が、株オプトで取り扱った、「facebook」「Twitter」「ブログ」活性化を目的としたさまざまな事例 7 つを取り上げられました。

We b 3.0 の時代に突入したと言われる昨今、ソーシャルメディアの台頭によりコミュニケーションの形が変化していることを日々感じます。現在、ソーシャルメディアは、もっとも急速かつ多角的に変化し続けているメディアであると言えるでしょう。

会 員 限 定**第 139 回定例研究会**
“30分1テーマ”で時代を先読みする「クローズアップ現代」
－変化の予兆を掴み取る広報・PRの視点を如何に築くか－

講 師：NHK 制作局 経済・社会情報番組部
チーフ・プロデューサー 細田 美和子氏

第 139 回定例研究会は 4 月 27 日（金）日本外国特派員協会（FCCJ）で開催しました。

講師にNHK 制作局 経済・社会情報番組部 チーフ・プロデューサー 細田 美和子氏をお迎えし、テーマは「“30分1テーマ”で時代を先読みする「クローズアップ現代」－変化の予兆を掴み取る広報・PRの視点を如何に築くか－」。有料参加者は 68 名。



ELトレンド指数で見るキーワード・ランキング 2012年4月度

エレクトロニック・ライブラリーは、2012年4月度の「話題のキーワード・ランキング」を発表しました。

これは、4月に発行された新聞96紙・雑誌約100誌のうち、「ELNET」に登録されているキーワード約263万語のヒット数の増減を数値化した「ELトレンド指数」等をもとに「一般キーワード」と「企業キーワード」に分けて分析したものです。

「一般キーワード」と「企業キーワード」のTOP10は以下の通りです。

■ 2012年4月度 EL一般キーワード TOP10

順位	トレンド指数	キーワード	順位	トレンド指数	キーワード
1位	7.62	弾道ミサイル	6位	4.49	一体改革
2位	6.96	発射	7位	4.45	避難区域
3位	6.91	大飯原子力発電所	8位	4.41	人工衛星
4位	5.02	原子力規制庁	9位	4.00	追加緩和
5位	4.55	発射実験	10位	3.76	打ち上げ

■ 2012年4月度 EL企業キーワード TOP10

順位	トレンド指数	キーワード	順位	トレンド指数	キーワード
1位	3.77	AIJ投資顧問	6位	1.51	シャープ
2位	2.32	関西電力	7位	1.46	国際協力銀行
3位	1.91	鴻海精密工業	8位	1.45	JR四国
4位	1.57	かんぼ生命保険	9位	1.45	東京急行電鉄
5位	1.55	日本板硝子	10位	1.44	新名神高速道路

※ELNETホームページでは毎月の発表を週刊にバージョンアップした上で、「ELウィークリートレンド」として毎週水曜日に発表しています。詳細は以下ご参照ください。

<http://www.elnet.co.jp/el/trend/index.html>

『誤解だらけの放射能ニュース』

小島 正美 著 エネルギーフォーラム 900円(+税)

その実在を確認できない不可思議な対象でありながら、人々の畏敬を集めるのが「霊」である。その存在の否定は、「霊」を盲信する人々にとってはいかなる科学的な根拠をもってもかなわず、「霊」の神秘的な魔力から解き放つことは困難だろう。

昨年3月11日の東日本大震災により被災した福島第一原子力発電所からは大量の「放射能」が放出された。その危険性について様々な見解や主張が明らかな根拠もないまま世に溢れ、国民の多くを恐怖のどん底に陥れた。著者は、本書「誤解だらけの放射能ニュース」(エネルギーフォーラム刊)の冒頭で、「放射能」が「霊」と似ている、と始める。

福島第一原子力発電所の事故は、言うまでもなくわが国原子力史上最悪となる未曾有の大事故である。地震による津波が直接的な原因とはいえ、想定外の放射能の大量放出はかつて原爆の惨禍に見舞われ放射能被害の悲惨な状況を知る日本国民を震え上がらせた。事故直後からメディアは原発から放出される放射能の危険を大きく報じ、生命と生活を脅かすとして国民の不安を大きく煽り立てた。

著者はニュースの影響度の大きさを決定付ける要素として「特異な現象」「物語」「アクション」をあげ、「方程式」を模して3つの要素を乗じた結果が影響度の強さを示すと説く。この「方程式」が原発事故の報道にも適用され影響度を増幅された数々の報道が、放射能リスクに対する国民の認識を形成する背景となったことは否定できぬであろう。

著者は共感を集める報道が、必ずしも科学的根拠に裏付けられた合理的な認識をとまなわないことに警鐘を鳴らす。支持を得るには、「あくまで科学的な根拠を示したエビデンス(証拠や根拠)を提示して認められたとき」とし、このことが発表や報道のスタンスとして重要とする。本書では、物事の判断は科学的な根拠に基づくべきというスタンスから、リスクに関する評価や判断についての論点を検証し、その問題点を抉り出す。たとえば、「一般人の被ばく限度は、年間1ミリシーベルトと法律で決められている。それを超えたら危ない」という表現の問題点を指摘する。実際には被ばく限度を年間1ミリシーベルトとする法律は存在していないこと、ICRP(国際放射線防護委員会)が示す放射線作業従事者の被ばく基準が年間50ミリシーベルト(5年間で100ミリシーベルト)であり、その基準のもとで作業者の健康状態が維持されていること、自然界から被ばくする放射線量は地域によっては年間1ミリシーベルトを超えていること、居住地域による被ばく線量の多少と健康への影響の間の相関関係は見受けられないことなど根拠を明確にした検証を進める。そして、このような姿勢が、専門家やジャーナリストによる座談会の記録で構成される本書後半の章も含め、バックボーンとして本書全編を貫く。

本書は、放射能リスクについて科学的に十分な検証を行うことなく国民の不安を煽りがちなメディアに反省を提起するとともに、メディアから際限なく流れる報道の真偽を見極めることの必要と重要性を人々に訴える貴重な提言とも言える。一方、影響度の大きさに関する「方程式」に象徴されるメディアの報道特性、取材にあたる記者の科学知識や理解力、様々な見解や主張に関する科学的な吟味の必要性など、広報に携わる人々が意識せざるを得ないことも多い。広報パーソンにとっても、精読に値する一冊だろう。



広報PRアカデミー2012 講座概要

コース	コース目標	対象者	講座名	講座概要	開催時期	講座構成	期間	定員	
基礎コース	従来、初級・入門編として実施していた座学の集中カリキュラム	PR会社や広報セクション等に入社、配属された新任もしくは経験の浅い広報・PR業務の担当者。広報・PRを基礎から学びたい方	広報・PR基礎講座	企業の新任広報担当者、PR会社等の広報業務従事者に必要な基本的な知識、スキルを3日間で習得する。	4月	[第1日] ・パブリックリレーションズの基礎 (90分) ・広報・PR実務と計画立案の基本 (90分) ・コーポレート・コミュニケーションズと企業における広報・PR活動の実践 (90分) ・インターナル・コミュニケーションの実践 (90分) ・広報・PRパーソンの心構えと自己啓発 (90分) [第2日] ・PR会社の役割と仕事 (90分) ・広報・PRの倫理と法規(著作権等) (90分) ・ニュースリリースの基本作成実習 (240分) [第3日] ・新聞、テレビ、雑誌等のメディア特性とメディアリレーションズ (90分) ・ネットの特性と広報における活用 (90分) ・メディアリレーションズの基本実習(「実践メディアリレーションズ」) (240分)	全日講座/3日間	60名	
		SNS未利用者(初心者)	ソーシャルメディア基礎講座 「今さら聞けないSNS」	Twitter、Facebookの最も基本的な使い方を学ぶ。会員限定。	6月	・広報・PRにおけるソーシャルメディア活用概論(60分) ・Twitter、Facebook等の操作実習(120分)	180分	10名	
専門・応用コース	従来、中級・上級編として実施していた座学及び演習付きカリキュラム	PRアワード受賞プロジェクトに興味のある広報・PR関係者	[事例研究]広報・PRプロジェクト最新事例セミナー —「PRアワード」グランプリ表彰企業の取組みに学ぶ—	・「PRアワード2011」のグランプリ、4部門最優秀賞を2回に分けて紹介し、プロジェクト事例の解説し、企画の考え方について学ぶ。	5月・6月	・第1回 PRアワード運営/MC部門/イノベーション部門 ・第2回 GP/CC部門/ソーシャル部門	各150分(夜間)	150名	
		実務スキルの向上に意欲のある広報・PR関係者	広報・PR実践スキルアップコース	ニュースリリース活用講座 —ネット時代に対応したニュースリリースの活用— マーケティングPR強化講座 —IMCとソーシャルメディアの活用— クライシスコミュニケーション強化講座 —緊急記者会見と危機対応のポイント—	ニュースリリースの概念や基本的な作成法、メディアの種類や特性を学び、ネットとも連動する広報ツールとしてニュースリリースの効果的な活用法を講義と演習を通じて習得する。 マーケティングPRの概念やソーシャルメディアをはじめとするさまざまなメディアを効果的に活用する活動計画の立案法を、講義と演習を通じて習得する。 緊急記者会見のシミュレーショントレーニングの経験を通じて、企業や団体の危機的事態における心構え、マスメディアへの対応のポイントについて習得する。	9月	講義と演習(240分) 3回一括受講者に対してはパッケージ価格として10%引きとする	240分/1回	60名
		広報・PRにおけるソーシャルメディアの活用に興味のある方	ソーシャルメディア実践講座	実際に企業や団体の広報、マーケティングの分野で多様なソーシャルメディアを活用しているキーマンによるパネルディスカッションをとおし、活用のポイントや留意すべき問題点について探っていく。	5月～10月(全4回)	・パネルディスカッション(各120分)	夜間 120分	150名	
		広報・PRにおける専門的な知識、スキルの習得に意欲があり、プロフェッショナルとして自らの実務能力の向上をめざす方	プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ	コーポレート・コミュニケーションの概念と戦略・計画の立案	企業広報の基本となるコーポレートコミュニケーションの概念を企業の実例を交えて解説し、広報戦略や計画の立案のポイントについて習得する。	11月～2月	講義(120分)	19:00～21:00	各60名
				危機管理の心構えとクライシス・コミュニケーション推進のポイント	不祥事や事故、ネットにおける炎上や情報漏洩など、企業団体における危機的事態の原因、成功や失敗について事例を通じて解説し、広報・PR担当者が備えるべき心構えや対応のポイントを習得する。	講義と演習(240分)	17:00～21:00		
				マーケティング/ブランディングを基礎としたコミュニケーションの計画と実施	マーケティングPRのベースとなるマーケティングやブランディングの概念、考え方を解説し、演習をとおしてコミュニケーション計画の立案や活動実施のポイントを習得する。	講義と演習(240分)	17:00～21:00		
				CSR、IRと連携した経営と広報・PR戦略の展開	企業価値の向上に不可欠となっているCSRやIRの企業経営における位置付けや機能を確立し、先進企業のケーススタディをとおして企業をとりまくステークホルダーへのコミュニケーションのポイントを習得する。	講義(120分)	19:00～21:00		
				グローバル企業におけるグループ広報の実際とコミュニケーション戦略	グローバルにグループ展開している日本企業が行うコミュニケーション活動について、多様なケーススタディを通じてその戦略立案や計画推進のポイントを学ぶ。	講義(120分)	19:00～21:00		
				企業広報におけるインターネット導入の実際と効果的な活用	マスメディアと共存する新しいメディアとしてWebやソーシャルメディアを企業広報にどのように位置付け、活用していくべきか、事例をとおしてそのポイントを学ぶ。	講義(120分)	19:00～21:00		
				広報・PR活動を評価する効果測定の実践と新技法	広報・PR活動の効果測定の実践と新しい傾向を事例を通して学び、どのように効果測定を実施し活用していくべきかそのポイントを学ぶ。	講義(120分)	19:00～21:00		
PRプランナー試験対応コース	広報・PRに関する知識やスキルを習得させ、PRプランナー資格認定・検定制度試験を合格できる実力を育成する	広報・PR業務に興味を持ち、PRプランナー試験の合格をめざす方	1次試験対応講座	過去問題を活用し、模擬試験と解説で構成。全4回。	7月、1月	演習(120分)	各120分/週1回 4日間(夜間)	60名(会場受講者)	
		3次試験対応講座	ニュースリリース、広報・PR計画の立案作成(マーケティング)、広報・PR計画の立案作成(コーポレート)の3テーマを講義と演習でそれぞれ構成。全6回。	6月、12月	講義と演習(150分)	各150分/週1回 6日間(夜間)	60名(会場受講者)		

※各講座の詳細につきましては、順次ホームページ (<http://event.prjs.or.jp>) で発表いたします。

*カリキュラム及び講師については、変更する場合があります。予めご了承ください。